

トラフグが旬！！

昨年の11月から地元料理店へトラフグの出荷を行っています。これらは3年生が2年次から育成してきたトラフグで、休日も交代で日直管理を行うなど、日々の活動が実り、例年より大きく育ちました。料理店からも「大きくて扱いやすい。」「味も良い。」と、喜んでいただいています。3年生たちは卒業まで残りわずかですが、手を抜くことなく日直管理を継続しています。



「丹後のトラさん」として販売しています。

プラスチックごみゼロシンポジウム

海洋科学科では、「海洋ごみ問題」に取り組んでおり、マイクロプラスチック調査や海洋生物への影響等を調べています。12月24日(木)、「プラスチックごみゼロシンポジウム」(関西広域連合主催)がオンライン開催され、海洋科学科2・3年生が参加しました。

大阪商業大学公共学部 准教授 原田 貞夫 先生からは、河川でのプラスチックごみの状況、亀岡市の先進的なレジ袋禁止条例等についての御紹介いただきました。3年生にとって、研究発表のまとめに活用できるよい学びの機会となりました。



大阪商業大学准教授と「zoom」でつながりました。

誰もが共に生きる未来に向かって

1月20日(水)、京都視聴覚障害者支援センター理事 松永信也 様を講師にお迎えし、講演をお世話になりました。盲導犬との関わりや点字を学ぶ難しさ、また、御自身が40代で目が見えなくなったときの苦悩など、切実な言葉で語りかけるとともに、生徒たちの多くの発言を引き出していただき、本当に貴重な経験をすることができました。誰もが共に生きる未来に向かって、自分たちが今できることを多く学ぶことができました。



私たちができることはたくさんありました。

華道体験～ボランティア部～

ボランティア部は、来校いただいた方に和やかな気持ちになっていただけるおもてなしを考え、活動しています。日々の植物の管理をはじめ、学校説明会、お魚MAP レストラン等では生け花やフラワーアレンジメントの展示に取り組んでいます。部員たちは他の部活動と兼部をしながら、どのようなことをしたら、来校していただいた方へのおもてなしに繋がるかを考え、活動しています。



12月は冬の草花をモチーフにしました。

救命救急実習

「海」と「陸」どちらに於いても、最も重要なことは「安全確保」です。海洋技術コースの冬の学びの一つに、救命救急実習があります。海上及び陸上での緊急事態に備え、心肺蘇生法、運搬法、さらに三角布を利用した応急処置の方法など、幅広い分野で通用する安全管理のスキルを磨きます。中学生の皆さん、三角布って御存じですか？一言でいうと「めっちゃ便利」です。「布」一つで命を繋ぐスキルを身に付けられるのが海洋技術コースです。1.17を受け、改めて防災や救急処置の大切さを新たにしました。



運搬の基本を学びました。

○卒業生からのメッセージ
キャリアールホテル旅行専門学校
國枝 愛莉さん(城北中学出身)
平成31年度卒

私が海洋高校に入学した理由は、専門的な勉強ができると思ったからです。私は食品経済コースで高校生レストランに力を入れていました。そこで、身に付けた「笑顔での対応」や「お客様へのサービス」などは、自分の将来に役立つと思っています。海洋高校では、自分になりたい職業についてより専門的な勉強ができます。ぜひ、一度、体験してみてください。



○在校生からのメッセージ
海洋科学科 3年 小林 亜圭(青葉中学出身)

中学生の頃は勉強も部活動も適当で、将来したいことも見つからず、平凡な日々を送っていました。そんな中、海洋高校の受検を決めたのは、中学2年生の夏休みに参加した学校説明会です。さまざまな体験実習があり、貝の佃煮作りや体験乗船など初めて見るものばかりで驚きと発見の連続でした。「この高校なら私のやりたいことが見つかる！」そう思い、受検を決めました。

実際に入学すると、校則が厳しく想像以上にきつい学校生活が待っていましたが、勉強、部活動、ボランティア活動等忙しく大変な日々ですが充実しており、楽しんでいる自分に気が付きました。

そして、水産の実習を通して、命の大切さについて学び、看護師になるという夢を海洋高校で見つけることができ、京都府立看護学校に合格することができました。

「将来の夢がない」
「自分を変えてみたい」
そう思う人は、ぜひ、海洋高校で見つけてください。



今月の1枚～文化委員から～

今月は1年生が担当しました。上級生の意思を引き継ぎ、レベルの高い作品に仕上がりました。



「朝日」 森口 美里 (宮津中学出身)



「夜景」 西田 裕将 (嵯峨中学出身)

タブレット PC 1人1台へ

1月18日(月)、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、タブレットPCが納入され、ほとんどの講座で1人1台を使った授業の展開が可能になりました。今後、三密を避けた教育活動の展開に活用するとともに、オンライン授業やオンラインミーティング、動画撮影等の技術について、実践的な力を身に付けていきたいと思えます。



実習レポートから

- 2年「ダイビング」 ■ 11月19日(木)
- 授業内容 マスク式潜水 ■ 海洋技術コース2年
- 吉田 颯花(青葉中学出身)

今日の実習では全面マスク式潜水をしました。送気係は機械に不備がないか送気ホースが絡まっていないかなどに注意しながら作業しました。ダイバーが安全に潜水できるよう、陸上にいる人が徹底的に作業をこなすことが重要だと分かりました。また、エアが事故で供給されなくなった場合は、予備のボンベを使うので、陸でのトレーニングすることで感覚をつかむことが大切であると改めて思いました。

校長室より

昨年12月焼津水産高校で開催された第29回全国水産海洋高等学校生徒研究発表大会で、日本海南部地区を代表して本校海洋技術コース3年生3名が発表、第1位最優秀賞を獲得しました。「他の追随を許さない」との高い評価を受けたウニにまつわる研究は、先輩が残したノウハウを土台としています。後輩へと受け継がれ進化する研究スタイルこそ、他校にはない海洋高校の宝物と言えます。